

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室ことのは3号館		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 15日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 12日		～ 令和8年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人一人を理解し、特性に応じた支援が実施し、児童が安心して楽しみながら事業所に通えていること。	児童に寄り添い共感する事を心がけ、一人一人の要望を大切に児童に合った活動を行っています。	今後も児童に寄り添い共感しながら活動を継続し、更に園外活動も取り入れながら活動の幅を広げ活動内容の充実した支援を行っています。
2	多職種による支援体制により、多角的な視点で支援を行えていること。	日々朝礼・昼礼・終礼で児童の活動のフィードバックを行い、一貫した支援が行えるよう情報共有を行っています。	情報共有できる環境づくりは継続し、事業所内研修などの学ぶ機会をつくる事でより良い支援の質の向上を図ります。
3	保護者に対する活動の報告、申し送りが細かく児童の様子が保護者に伝わりやすいこと。	活動後は保護者に対して、直接の申し送りやLINEでの申し送りを行い、保護者が安心して事業所に預けられるよう児童の様子をお伝えしています。	申し送りの際には、伝わりやすさを意識しながら伝え方や共有方法を工夫していこうと思います。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や地域の保育園や学童との交流の機会が少ないこと。	児童の特徴としてコミュニケーションが苦手な児童が多い為、定期的な交流の場を計画できていません。	児童の特性や負担に配慮しながら小規模・短時間の交流会から段階的に実施できるよう計画を進めます。
2	保護者会での保護者交流の機会や、家族が参加できる研修会・情報提供の機会、きょうだい向けのイベント等が少ないこと。	日程調整や参加負担への配慮、職員体制等から開催する事ができていません。	保護者が参加しやすい日程調整や全体開催ではなく、少人数での開催等、無理のない形での実施を検討していきます。
3	視覚的な支援への環境調整が不十分な部分があること。	視覚支援の見直しや教材作成の時間確保が出来ていない為、視覚支援の整備が十分に行き届いていない部分があります。	視覚支援に対する環境を見直したうえで、環境整備の時間確保を行い児童に分かりやすい視覚的な手がかりを増やす工夫を行います。